

# 平成29年度 第34回画像保存セミナー

日本写真学会画像保存部会（画像保存委員会・デジタルアーカイブ研究会）では、次世代に伝えるべき写真画像およびその他の画像記録物の確実な保存を目指し、そのための知識の普及と技術の確立を目的として活動を行っております。また、その情報を広く発信する場として、画像保存セミナーを開催し、今年で34回目を迎えます。

本セミナーでは、銀塩写真を中心とするプリント材料から、デジタル化された画像データについて、その保存と活用について広く取り扱っており、参加者の皆様の役立つように、基礎的な知識、最新の情報、活用例など、多岐にわたる内容をお届けしています。本年度はプリント材料について、銀塩写真の歴史と保存、インクジェットプリントの特徴と保存、また、デジタルデータについて、光ディスク、半導体メモリおよび保存システムの技術と動向、保存の実施例に関する講演を企画しております。

例年通りセミナー終了後、講演者と参加者が自由に情報や意見の交換をして頂ける懇親会を設けております。画像保存に関心のある方、関連分野の多くの方々のご参加を賜りたく、案内申し上げます。

【日 時】：平成29(2017)年11月1日(水) 9:55~17:45 <9:30 受付開始>

【場 所】：東京都写真美術館ホール  
東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

## セミナープログラム

講演1. 「銀塩プリント材料とその画像保存性」 フジフィルム スクエア コンシェルジュ梅本 眞

1990年代後半から写真のデジタル化が進み、プリント材料も銀塩の印画紙の他に様々な方式が用いられるようになった。本講演では、カラー印画紙を中心に、銀塩プリント材料の歴史と画像形成原理、画像保存性及びその向上技術についてわかり易く解説する。

講演2. 「銀塩写真とデジタル写真の表現能力について」

キヤノン株式会社 画像情報技術開発センター 蒔田 剛

デジタルカメラが登場して35年あまり経ち、画素数や感度の進歩は著しいものがある。一方で銀塩フィルムは未だ根強い人気があり、その表現能力で我々を魅了し続けている。本件では銀塩とデジタルの相違点と共通点を明確化した上で、各々の特徴とインクジェット画像の保存性についても言及する。

講演3. 「光ディスクによる大切なデータの長期保存」

三菱ケミカルメディア株式会社 竹島 秀治

データを保存する様々なメディアが選択肢としてあるなか、光ディスクを使った長期保存の方法を紹介する。光ディスクの特色、他メディアとの違い、適切な取扱いといった観点から、長期保存に適したメディアとは何かを説明する。

講演4. 「デジタル画像の長期保存用ストレージとしての半導体不揮発性メモリの可能性—その現状と今後の課題—」

芝浦工業大学SIT 総合研究所グリーンイノベーション研究センター 小林 敏夫

Google 副社長のヴィント・サーフ氏は、現在保存されているデジタルデータの多くが消失の危機にあると警鐘を鳴らした。本講演では、今後記憶媒体の主流になる可能性がある半導体不揮発性メモリの現状と長期保存用メモリを作る技術的可能性さらにその必要性を訴えることの重要性について述べる。

講演5. 「階層型アーキテクチャで探る画像保管技術の変遷と今後の行方」

元日本オクラル株式会社 Digital Media Solutions 干籾谷 拓也

画像保管におけるアナログからデジタルへの変遷を、ソフトウェアメーカーなどで開発に関わった目線から振り返り、最新のオブジェクトストアの概念やクラウドも含めた技術動向をわかりやすく解説する。

講演6. 「写真原板アーカイブ作成の方法—日本写真保存センターの実践から—」

日本写真保存センター 松本 徳彦 中川 裕美

貴重な歴史的な事象を記録した、写真のネガフィルムや乾板などの写真原板は、現在、劣化と散逸の危機に瀕している。本講演では、写真原板の収集・調査活動を通して、保存と情報整理に有効だった方法とデータベースの実際を紹介し、あわせて今後の課題を述べる。

【セミナー参加費】（講演要旨集代を含む）

日本写真学会および協賛学協会会員 … 6,000 円、非会員…… 8,000 円、学 生… 2,000 円

【定 員】 180 名（定員になり次第締切りますのでお早めにお申し込み下さい）

【懇親会】 講演者と参加者の自由な討論の場、および参加者相互の情報交換や交流を深める場として、セミナー終了後に下記のとおり懇親会を開きます。参加ご希望の方は郵便振替用紙の該当欄にその旨ご記入の上、会費をお送り下さい。

- ・日時：当日：11月1日 18:00 より
- ・場所：恵比寿ガーデンプレイスタワー 3F 「YEBISU GARDEN CAFE」
- ・会費：3,500 円

【申込締切】 平成29(2017)年10月13日(金)

【申込方法】

(1) プログラムに同封されている郵便振替用紙に、必要事項をご記入の上、セミナー参加費をお振り込み下さい。懇親会に参加ご希望の方も会費も合わせお振り込み下さい。

(2) 日本写真学会ホームページ <http://www.spstj.org/> から参加申込ができます。その場合でも、参加費のお支払は、上記のように事前に郵便振込みでお願い致します。

【送り先】 〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 東京工芸大学内

(一社) 日本写真学会 Tel. 03-3373-0724

郵便振替口座番号：00130-6-72818 Fax 03-3299-5887